

アクセス制限 [M43]

オートロック [M431]

[お買い上げ時：OFF]

ロックNo.を入力しないとW33SAを使用できないように設定します。

- 1 (メインメニュー) 4 GHJ た 3 DEF さ 1 ㊦ ㊧
- 2 「ON」を選択→
→ロックNo.を入力
- 3 再ロック時間を選択→

お知らせ

- オートロック設定中にロックNo.を入力すると、設定は一時的に解除されます。一時解除中は、電源を入れ直した場合や待受画面で設定した時間内にキー操作がおこなわれなかった場合、再度オートロック(再ロック)が設定されます。
- オートロック設定されている場合でも、以下の操作は可能です。
 - ・ 緊急通話電話番号(110、118(海上保安本部への緊急通報)、119)へは電話をかけることができます。
上記番号へかけるときは、ダイヤルするとロックNo.入力画面が表示されますが、そのままを押すと発信できます。
 - ・ かってきた電話を受ける(エニーキーアンサー(→P42)および平型(スイッチ付/ステレオ)イヤホンマイク(別売)での応答)
 - ・ 電源を切る
 - ・ 通話中の受話音量調節、着信中の着信音量調節
 - ・ 着信拒否、応答保留(→P43)、かってきた電話を転送する(→P352)、簡易留守メモ起動(→P53)
 - ・ 各種アラームの設定時刻になると、アラームを停止することができます。

遠隔オートロック [M432]

[お買い上げ時：OFF]

W33SAを紛失した場合などに遠隔操作でオートロックを設定して、他人が利用できないようにします。指定時間・着信回数・電話番号を設定し、設定した動作条件でW33SAに着信があると、オートロックが設定されます。

遠隔オートロックの動作条件を設定する

- 1 (メインメニュー) 4 GHJ た 3 DEF さ 2 ABC か
- 2 「ON」を選択→
→ロックNo.を入力

- 3 「指定時間」を選択→
→指定時間を入力→

最初の着信から設定した回数分の着信があるまでの制限時間です。
01～10分の範囲で設定できます。

- 4 「着信回数」を選択→
→着信回数を入力→

遠隔オートロックが起動するまでの着信の回数です。
03～10回の範囲で設定できます。

- 5 (番号リスト)

発信元番号リスト画面が表示されます。

- 6 →「直接入力」を選択→
→電話番号を入力→

「アドレス帳引用」、「履歴引用」、「メモ帳引用」、「プロフィール引用」を選択して電話番号を入力することができます。(→P72)
「公衆電話」を選択すると、発信元に公衆電話を設定できます。
電話番号は3件まで登録できます。

- 7 (完了)→ (保存)

お知らせ

- 電話番号を消去するには、手順5の画面で消去したい電話番号を選択して (消去)を押します。以降の操作は「登録内容を消去する」(→P342)をご参照ください。

遠隔操作で W33SA にオートロックを設定する

遠隔オートロックで設定した指定時間内に、登録した電話からW33SAに電話(着信)を繰り返すと、オートロックを設定した旨のガイダンスが流れます。

ご注意

- 遠隔オートロックを設定するときは、発信者番号通知をおこなって電話をかけてください。
- サービスエリア外やサービスエリア内でも電波の弱い場所にいるときは、遠隔オートロックを起動できません。

お知らせ

- オートロックの再ロック時間は「OFF」に設定されます。
- 指定時間を過ぎても設定した着信回数に満たないときは、遠隔オートロックは起動しません。
- 着信回数は、登録してある電話番号別にカウントされます。同じ電話番号で着信回数に達した場合に遠隔オートロックは起動します。
- 遠隔オートロックを設定するために電話をかけた場合、電源が入っていないときは遠隔オートロックを起動するための着信回数としてカウントされず、遠隔オートロックを起動できません。
- 着信回数のカウント中に次の動作をおこなうと、それまでカウントした着信回数はリセットされます。
 - 電源をOFFにしたとき
 - 遠隔オートロックを「OFF」に設定したとき
 - 遠隔オートロックの動作条件を変更したとき
 - 機能リセット、オールリセットをおこなったとき
- 着信拒否を設定して拒否した電話や、お留守番サービスまたは着信転送サービスに転送した電話も、着信回数としてカウントされます。ただし、着信転送サービスで転送の種類を「フル転送」、「話中転送」(→P351)にしている場合は、着信回数としてカウントされません。

各種制限を設定する [M433～M438]

[お買い上げ時：(すべて) OFF]

電話の発信やアドレス帳、Eメール、Cメール、EZweb、EZアプリなどの機能を他人が利用できないようにします。

ダイヤル発信制限 [M433]	ダイヤルキーの番号入力など、アドレス帳以外の機能からの発信やアドレス帳の登録・編集・消去を制限
アドレス帳制限 [M434]	スピードコール(→P39)の発信やアドレス帳の登録・呼び出し、ペア機能の呼び出し、Hello Messengerの起動を制限
メール制限 [M435]	EメールおよびCメールの利用を制限
EZweb制限 [M436]	EZwebの利用を制限
EZアプリ制限 [M437]	EZアプリの利用を制限
ハロー制限 [M438]	Hello Messengerの利用を制限

〈例〉ダイヤル発信制限を設定する場合

1 (メインメニュー) 4 GHJ た 3 DEF さ 3 DEF さ

2 「ON」を選択→
→ロックNo.を入力

お知らせ

- ダイヤル発信制限を設定中でも以下の操作は可能です。
 - スピードコールやアドレス帳を呼び出して電話をかける。
 - 緊急通話電話番号(110、118(海上保安部への緊急通報)、119)へ電話をかける。
- アドレス帳制限を設定中でもメモリリセット、オールリセットでアドレス帳を消去できます。
 - アドレス帳制限設定中の履歴の名前表示については、P43をご参照ください。
- メール制限設定中でもメールは受信されます。
- ダイヤル発信制限、アドレス帳制限、メール制限、EZweb制限、EZアプリ制限、ハロー制限の設定中に各制限対象の操作をおこなうとロックNo.の入力画面が表示されます。ロックNo.を入力することで、一時的に続きの操作をおこなうことができます。